

(工学研究科)

2026.8.21

奨学金（財団）名称		公益財団法人三菱ガス化学記念財団 2026 年度秋外国人留学生
推薦数		工学部・工学研究科より 1 名
応募資格	専門分野	化学、化学工学など化学に関わる分野を専攻する者 ※学部学科に関わらず化学を学修する学部生や、化学的アプローチにより研究をする大学院生を含む
	課程・年次	2026 年 10 月時点で、正規の学士課程、博士前期課程及び博士後期課程に在籍している外国人留学生（在留資格：留学）
	国籍・地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス 以上の国籍を有する者
	日本語能力	日本語による意思疎通が可能な者 日本語能力試験 N 3 相当以上を有する者 Japanese proficiency equivalent to JLPT N3 level is required to apply.
	成績要件	なし
	その他財団が求める資格・要件	・他の奨学金や LEAP 等の研究奨励費との併給不可 ※ただし、総長特別奨学生は、応募、授業料免除申請ともに可 ・奨学金支給期間に正規の職（常勤務）に就いていない者 ・財団開催の交流会、懇親会に出席できる者 ※東京開催、交通費支給
奨学金額 支給期間		学士課程 月額 15 万円 博士前期課程 月額 18 万円 博士後期課程 月額 20 万円 2026 年 10 月より在籍する大学・大学院の正規の修学期間
提出期限		2026 年 9 月 16 日（水）
応募書類		①奨学生申込書（所定様式・ A3 サイズで出力 ） ※本人自筆、日本語、カラー写真添付（裏面に氏名記載） ②推薦書（所定様式・A4） ※パソコン入力可、印刷後に担当教員の押印 ③前年度もしくは中間期の成績証明書（原本） ※新入生を除き、成績証明書の提出ができない場合は、理由書（任意様式）添付 ④学部の成績証明書（コピー可） ※学部の新入生は高校時のもの。 ※別紙成績評価係数算出方法を参照の上、算出した値を鉛筆書きで記入 ⑤在留カードの写し（両面） ⑥経済状況調書（所定様式） ⑦民間奨学金申請時の心得（所定用紙） ⑧私費外国人留学生身上調書（所定用紙） ⑨家計状況調書（所定用紙）
提出方法		①～⑨を全て紙媒体で提出
応募書類提出先		工学部・工学研究科教務課国際交流係（青葉山東キャンパス中央棟 3 階）

公益財団法人三菱ガス化学記念財団

2026 年秋 外国人留学生への奨学生募集要項

三菱ガス化学記念財団（以下「当財団」という）は、化学、化学工学分野を目指す有為な人材への支援と同分野の研究に対する助成を通じて、直面する社会問題を解決し、持続可能な社会を実現するための一助となすことを目的に 2018 年 9 月に設立致しました。

当財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化と出身国文化の相互理解、交流に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

1 奨学生の応募要件

インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス（以下「対象国」という）の国籍を有し、勉学または研究の為、日本国内に在留している留学生で下記の条件を満たしている方

- (1) 2026 年 10 月 1 日時点で、当財団が指定する大学・大学院に在籍している化学、化学工学など化学に関わる分野を専攻する学士課程、修士課程あるいは博士課程に在籍する方（在籍する学部学科に関わらず化学を学修する学部生や化学的アプローチによる研究をする大学院生を含みます。）
- (2) 在留資格「留学；college student」を有する方
- (3) 他の機関から奨学金又はこれと同種の支援を受けていない方
但し、地方自治体による学習奨学金（在住の留学生全員が受給の対象となるもの）、学術上の貢献に対する一時的な報奨金、授業料の免除若しくは減額、授業料に充当することを用途とする学内奨学金については除きます。
- (4) 奨学金支給期間に正規の職（常勤務）に就いていない方
- (5) 日本語による意思疎通が可能である方（日本語能力試験 N 3 相当以上を有する方）
- (6) 心身共に健康であり、学業成績、人物とも優れている方
- (7) 当財団が開催する交流会、懇親会に出席できる方（原則、東京で開催。交通費支給）
- (8) 現地入学試験や貴大学と提携関係にある大学等から留学する方については、入学前に推薦を受け付けることがあります。

なお、当財団の奨学金は、全額を支給するもので返済義務はありません。また、設立母体の三菱ガス化学株式会社への付帯義務はありません。

2 募集人員

各大学 1 名程度

3 奨学金支給内容

- (1) 支給額：学士課程月額 15 万円、修士課程月額 18 万円、博士課程月額 20 万円
- (2) 支給期間：奨学生として採用した学期の初月以降、在籍する大学・大学院の正規の修学期間。但し、学士課程は 4 年、修士課程は 2 年、博士課程は 3 年を限度とし、留年或いは滞留した場合、原則として支給を打ち切ります。なお、支給期間は修学年次で管理します。具体的には、学士課程 2 年次で支給開始された場合は残りの 3 年、修士課程 2 年次で支給開始された場合は残りの 1 年、博士課程 2 年次で支給開始された場合は残りの 2 年を支給期間とします。
- (3) 支給方法：原則、毎月 10 日に三菱 UFJ 銀行本支店或いはゆうちょ銀行本支店の奨学生本人の口座へ振込で支給します。奨学生が当該銀行口座を有していない場合、当財団が口座開設を支援致します。
- (4) 奨学生証授与後、学期の初月に遡り奨学金を支給します。(例えば前半期 10 月 1 日開始の場合、10 月に遡り奨学金を支給します。)

4 応募・推薦の方法

- (1) 本奨学金を受けようとする方(以下、「応募者」という)は、当財団所定様式の奨学生申込書(別紙参照)へ必要事項を全て本人自筆で記入して大学を經由して当財団事務局へ提出して下さい。
- (2) 大学の長或いは学生が在籍する部門長は、奨学生の応募要件に該当する方から当財団奨学生に相応しい方を選抜して下さい。奨学生申込書に当財団所定様式の推薦書(別紙参照)及び以下の添付書類を添えて当財団事務局へ提出して下さい。

5 応募書類

- (1) 奨学生申込書(別紙様式) 1 通
* 原則日本語で、全て本人自筆で記載されたもの
 - (2) 応募者のカラー写真 1 枚
* 最近 6 ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、奨学生申込書の所定欄に貼付すること。
 - (3) 推薦書(別紙様式) 1 通
 - (4) 前年度もしくは中間期の学業成績証明書 1 通
* 新入生を除き、学業成績証明書の提出が出来ない場合は、理由書(様式任意)を添付すること。
 - (5) 在留証明書の写し 1 通
- ※ 応募者から当財団への直接の応募や質問は受付致しません。なお、提出書類は返却致しません。

【応募書類送付先】

〒100-8324 東京都千代田区丸の内 2-5-2

公益財団法人 三菱ガス化学記念財団 事務局

6 奨学生の選考と採用内定/採用

(1) 書類選考

奨学生応募要件に基づき、書類選考を実施します。書類選考通過者には、10月15日までに、面接日時を推薦依頼した大学・大学院宛に通知致します。

(2) 面接

書類選考通過者を対象とした面接は、10月下旬～11月上旬に実施します。なお、面接は日本語で行います。面接の日時場所は、別途通知致します。

(3) 採用通知および授与式

応募者の選考結果は、11月下旬に推薦依頼した大学・大学院に通知致します。

採用内定奨学生は、当財団が別途指定する所定の手続きをお願いします。

2026年12月上旬以降に当財団が実施する奨学生採用式にて採用通知書（奨学生証書）を授与します。日時場所は別途本人へ連絡致します。採用決定奨学生は必ず出席して下さい。

(4) 全体スケジュール

2026年7月中旬	各大学へ募集要項配布
2026年10月8日(木)	各大学からの応募締切(必着)
2026年10月中旬	財団での書類選考
2026年10月15日(木)	書類選考通過者へ面接日時を大学経由で通知
2026年10月末～11月上旬	選考委員会による面接
2025年11月下旬	財団理事会で奨学生の決定/大学へ採用決定通知送付
2025年12月上旬	奨学生証書授与式

7 採用後の奨学生の義務

- (1) 奨学生は採用決定後、速やかに所定の誓約書を当財団事務局宛に提出して下さい。
- (2) 奨学金支給期間中は、在籍大学・大学院で所定の学業、研究に精励して下さい。
- (3) 奨学金支給期間中、3ヶ月ごとに別紙様式の活動報告書を、更に中間期及び年度末に成績証明書等を提出して下さい。
- (4) 学籍、修学状況や生計の変化が生じた際は、速やかに当財団事務局へ報告して下さい。
- (5) 財団が主催する交流会（年3回程度）に参加して下さい。

8 奨学金の停止又は打ち切り

奨学生が、次の(1)から(8)のいずれかに該当した場合には、奨学生は速やかに当財団へ報告するとともに、その際当財団が本奨学金の支給を停止しても異議を述べず、更に支給した奨学金の一部または全部について返還要請があった場合には速やかに応じて下さい。

- (1) 大学から退学または停学の処分を受けた時
- (2) 留年、退学または休学した時
- (3) 45日以上長期欠席又は海外渡航等により、勉学の継続が困難になった時
- (4) 在籍する大学または在籍課程・専攻を変更した時
- (5) 他の機関から奨学金又はこれと同種の支援を受けた時

但し、地方自治体による学習奨学金(在住の留学生全員が受給の対象となるもの)、学術上の貢献に対する一時的な報奨金、授業料の免除若しくは減額、授業料に充当する

ことを使途とする学内奨学金については除きます。

- (6) 学士、修士若しくは博士の学位を取得した時
- (7) 募集要項の奨学生の資格要件を満たさなくなった時
- (8) 奨学生申込書、推薦書等の応募書類に事実と異なる記載があった時

9 個人情報の取り扱い

応募時の提出書類に係わる一切の個人情報は、選考に関する手続き（審査と当財団からの連絡）にのみ使用するという当財団の方針に同意した上でご応募下さい。

（別表）2026 年秋 外国人留学奨学生 推薦依頼大学と対象国

推薦依頼 大学・大学院	大阪大学、京都大学、慶応義塾大学、筑波大学、東京科学大学、東京大学、東京理科大学、東北大学、名古屋大学、早稲田大学の化学に関わる分野の学部又は大学院
対象国	ASEAN 加盟 10 ヶ国： インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス

以上

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2026.04.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- ☐ 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- ☐ 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- ☐ 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- ☐ 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- ☐ 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- ☐ 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- ☐ 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- ☐ 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- ☐ 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- ☐ 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- ☐ 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

また、本学の推薦を経て採用された後に、他の奨学金への申請等を理由として辞退することは認められません。財団からの信頼を損なうのみならず、次年度以降の推薦枠の減少を招くなど、本学全体に不利益を及ぼす可能性があることを十分に自覚したうえで申請してください。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号		
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ～ 現在			
		年 月 ～ 年 月			
		年 月 ～ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所)				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

家計状況申告書

在 籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏 名				

家計状況

* 2025年4月から2026年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2025年10月入学の場合は2025年10月から2026年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

* この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2026	前期	申請中	申請なし			
2025	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）